



「学ぶ」「鍛える」「豊かな心」

# かわぐち

地域運営学校「コミュニティかわぐち」

地域運営学校

八王子市立川口中学校

学校だより 第14号

令和8年2月17日発行

TEL 042-654-2485

「<sup>おもんばか</sup>慮る心」

校長 寺沢 亮



立春を過ぎても寒暖差の激しい日(2/15は東京で18℃を記録!)が続きますが、イタリアの地ではそれ以上に熱い戦い、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが繰り広げられています。日本との経度差は120度です。地理の授業で学んだ「経度15度で1時間の時差」という計算をあてはめれば、ちょうど8時間の時差があります。イタリアは日本より8時間遅くその日がやってきます。

連日、多くのアスリートの活躍が伝えられています。これを書いている2月16日現在、日本代表はハーフパイプ、モーグル、スキージャンプ、フィギュアスケートなど、数々の種目でメダルを獲得し、その数は17個に達しています。中でも、スノーボード・ハーフパイプの前回王者、平野歩夢選手の演技は心に残るものでした。

実は彼は、大会直前の1月に行われたワールドカップで、顔面と下半身を強打するという壮絶な転倒をし、その診断は複数箇所の骨折と打撲という重傷でした。今回のオリンピック出場そのものが危ぶまれながらも、痛み止めを施しながら見事決勝に進みました。結果は惜しくも表彰台を逃すものでしたが、試合後の彼の態度は実にすばらしいものでした。けがを一切言い訳にせず、共に競い合い、素晴らしい演技を見せた仲間たちを心から称えていました。

今大会を観戦していて、日本の選手たちは、自分の活躍のことより、支えてくれた周りの人々や仲間への「感謝」を口にする場面が非常に多いと感じます。女子アイスホッケーの選手たちが見せた試合後の振る舞いもその一つでしょう。予選リーグでの敗退が決まった、最も心が折れそうな場面で、彼女たちは整列し、観客席に向かって深くと頭を下げました。

このお辞儀は、時間にしてわずか3秒ほどだったかもしれませんが、しかし、自分の感情を制して周囲への礼を尽くすその姿は、相手を<sup>うやま</sup>敬い、共に生きる仲間を<sup>とうと</sup>尊ぶ、日本の良き伝統や風土が育んできた一つの美徳が表現されたものでした。そして、この美徳の根底にあるのが、今回私が皆さんに伝えたい「<sup>おもんばか</sup>慮る」という言葉です。

「慮る」とは、単に考えるだけでなく、周囲の状況や相手の気持ちを、自分自身の枠を超えて深く思いやることを指します。自分の悔しさよりも応援への感謝を、自分の痛みよりもライバルの努力を慮る。この「慮る心」が生んだ3秒のお辞儀に、世界中のメディアが「これこそが真のスポーツマンシップだ」と喝采を送り、他国の選手たちが真似をし始めるという、美しい連鎖が生まれたのです。

この「慮る心」こそ、「川中プライド(あいさつ・けじめ・思いやり)」のすべてに通じる、大切な精神です。実は先週、とても嬉しいことがありました。私が校内を歩いていたとき、後ろを向いていた私に気づいたある生徒が「校長先生、おはようございます!」と、わざわざ声を届けてくれたのです。振り返ると、そこには清々しい笑顔がありました。

姿が見えてから挨拶をするのではなく、相手の存在を認め、自分から言葉を贈る。この挨拶も、時間にしてたった3秒ほどのことです。しかし、その3秒というわずかな時間に込められた川口中生の「慮り」だけで、私は心から感動し、その日1日を最高に幸せな気持ちで過ごすことができました。

たった3秒の行動が、誰かの1日の幸せをつくること。これこそが「礼儀」や「思いやり」がもつ、ささやかですが確かに強い力です。メダルを手にした選手も、惜しくも届かなかった選手も、氷の上で見せたりスペクト(相手を心から敬い、大切に思う敬意のこと)の精神に変わりはありません。皆さんが廊下で交わす挨拶も、それと同じくらい価値のあるものです。どちらも、日本のよき伝統を受け継ぎ、自分以外の人や場所を大切にしようとする温かい心の表れだからです。

イタリアで戦う選手たちの姿に学ぶように、私は皆さんの日常の何気ない振る舞いの中に、本校の誇りを感じています。「慮る」という川中プライドを胸に、これからも、自分と誰かを幸せにする「3秒の挨拶」を大切にしていきたいと思います。

(本記事は2月16日の朝礼での講話をもとにしました)

## 雪 景 色

暦の上では春を迎えましたが、2月9日、川口の街に真っ白な雪の朝がやってきました。前日に降り積もった雪が校庭を優しく包み込み、私たちに束の間の心の平穏を感じさせてくれました。今はもう雪も解け、日常の風景に戻っていますが、あの白銀の輝きは、厳しい冬の中の優しい休息時間となったように思います。



2月9日(月)7:27 撮影

## 第2学年・4組 横浜校外学習

2月10日(火)、第2学年と4組は横浜にて、SDGsを軸とした校外学習を実施しました。今回の学習の大きな柱は、単なる見学に留まらず「働くことの意義」を肌で感じることです。午前中の企業訪問では、企業のSDGsへの取組を学び、働くことの意義や社会で必要とされる資質について考えを深めました。午後は班別学習を通じ、横浜の歴史や文化に触れながら、社会のルールやマナーを実践的に学びました。仲間と協力し、自律的に行動する姿からは、最高学年への自覚が感じられました。この経験は、来年度の修学旅行へと繋がっていく大切な一歩です。一日を通して得た「人生観」や「公共心」をもとに、さらに大きな学びへと繋げていくことを期待しています。



【ご協力いただいた企業等】 (株) カップ・クリエイト 神奈川県住宅供給公社 国連 WFP 協会  
 横浜税関 (株) 日本ケンタッキー・フライド・チキン (株) ProVision 横浜環境保全株式会社  
 (株) 三菱重工環境・化学エンジニアリング

## 当面の予定 ※事情により変更の場合があります。

2/17	火		9	月	専門委員会
18	水	定期考査一週間前 部活動なし	10	火	都立二次・後期入試
19	木	放課後学習教室	11	水	保護者会(1・2年、4組)
20	金	避難訓練 放課後学習教室	12	木	卒業式予行
21	土	都立一次・前期入試	13	金	都立二次・後期合格発表
22	日		14	土	
23	月	天皇誕生日	15	日	
24	火	放課後学習教室	16	月	大掃除(3年)
25	水	学年末考査(国語・英語・社会)	17	火	赤ちゃんふれあい講座(3年) 給食終(3年)
26	木	学年末考査(数学・理科・保体) 学校運営協議会	18	水	卒業式前日準備
27	金	部活動体験 劇と音楽の会(4組)	19	木	卒業式
28	土	ピンクシャツデー(エスフォルタアリーナ)	20	金	春分の日
3/1	日		21	土	
2	月	都立一次・前期入試合格発表 専門委員会	22	日	
3	火	都立一次・前期入試入学手続締切	23	月	給食終(1・2年) 都立定時二次出願
4	水		24	火	大掃除
5	木	都立二次・後期入試出願	25	水	修了式・離任式 新入生説明会 14:00~
6	金	避難訓練	26	木	春季休業日始
7	土		令和8年度当初の予定 4/6(月)始業式 4/8(水)入学式 4/9(木)給食始		
8	日				